

JASDAQ

Listed Company 3052

協和医科器械株式会社

2008年6月期第1四半期決算説明会

2007年11月22日



1. 2008年6月期第1四半期の総括
2. 2008年6月期第1四半期の概況
3. 2008年6月期四半期業績の推移
4. セグメント別実績
5. 製品群別実績
6. オズ対前年度売上高比較 ①
 - ②売上総利益
 - ③ステント売上
 - ④PTA売上
7. 営業エリア
8. 都県別販売実績
9. 2008年6月期 業績予想（連結）
10. 2008年6月期 営業戦略
11. 中期業績目標（連結）
12. 問合せ先

補足資料

1. 事業内容
2. 医療機器販売事業
3. その他の事業
4. 事業系統図
5. 主要仕入先・販売先（当社単体）
6. 医療機器販売事業営業体制
7. 当社の基本戦略
8. 競争力アップ（医療材料の購買・在庫管理ソフト）
9. M&A
10. 業界環境 ①、②
11. 業界順位 ①、②、③
12. M&A ①
 - ②業界内の集約化
13. 財務分析 ① 貸借対照表
 - ② キャッシュフロー
14. 配当政策
15. 株主状況
16. セミナー実績

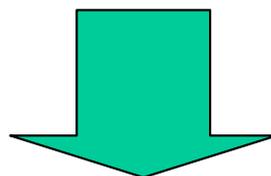
1. 2008年6月期第1四半期の総括

売上高

病院移転新築案件に係る売上が予定どおり計上でき、大型医療機器案件の獲得、静岡県内における循環器関連の症例数の急速な回復に伴う高額消耗品の販売増加により、医療機器販売事業において売上高は12,743百万円（前期比4.8%増）、売上総利益は1,320百万円（同11.9%増）となった

経常利益

売上高の伸びに加え、償還価格の切下げによる影響の是正により利益率も若干改善できた



前年同期比：売上高 5.0%増 経常利益 306.6%増 当期純利益 439.6%増

2. 2008年6月期 第1四半期の概況

(単位：百万円、%)

連結損益	07/6期 第1四半期 (実績)	08/6期 第1四半期 (実績)	対前年 増減額	07/6期 (実績)
	金額	金額		
売上高	12,626	13,256	630	49,511
営業利益	23	101	78	327
経常利益	32	131	98	436
当期純利益	13	75	61	243
売上高営業利益率	0.2	0.8	0.6	0.7
1株当たり利益 (円 銭)	2.20	8.99	6.79	31.51

3. 2008年6月期 四半期業績の推移



(単位：百万円、%)

		2006年6月期		2007年6月期		2008年6月期
		金額	構成比	金額	構成比	金額
売上高	第1四半期	10,395	21.5	12,626	25.5	13,256
	第2四半期	12,584	26.0	12,359	25.0	-
	第3四半期	14,208	29.4	13,094	26.4	-
	第4四半期	11,164	23.1	11,431	23.1	-
営業利益	第1四半期	46	8.4	23	7.2	101
	第2四半期	197	35.7	121	37.1	-
	第3四半期	335	60.6	234	71.5	-
	第4四半期	△26	△4.7	△51	△15.8	-
経常利益	第1四半期	71	11.0	32	7.4	131
	第2四半期	218	33.5	148	33.9	-
	第3四半期	358	55.1	262	60.1	-
	第4四半期	2	0.4	△6	△1.4	-

当社グループの販売先はその殆どが医療機関であります。当該機関は当社における第3四半期に設備投資を集中して行う傾向がある為、当社の販売高もそれに連動する傾向があります。

※四半期毎の業績については、監査法人トーマツ(当社会計監査人)の会計監査は受けておりません。

4. セグメント別実績

(単位：百万円、%)

セグメント		07/6期 第1四半期	08/6期 第1四半期	前期比	07/6期
医療機器販売事業	売上高	12,158	12,743	104.8	47,481
	先端医療機器	4,946	4,631	93.6	18,035
	医療用具・備品	7,212	8,111	112.5	29,446
	営業利益	276	345	124.9	1,300
その他の事業	売上高	467	513	109.7	2,030
	営業利益	8	△10	-	10

5. 製品群別実績

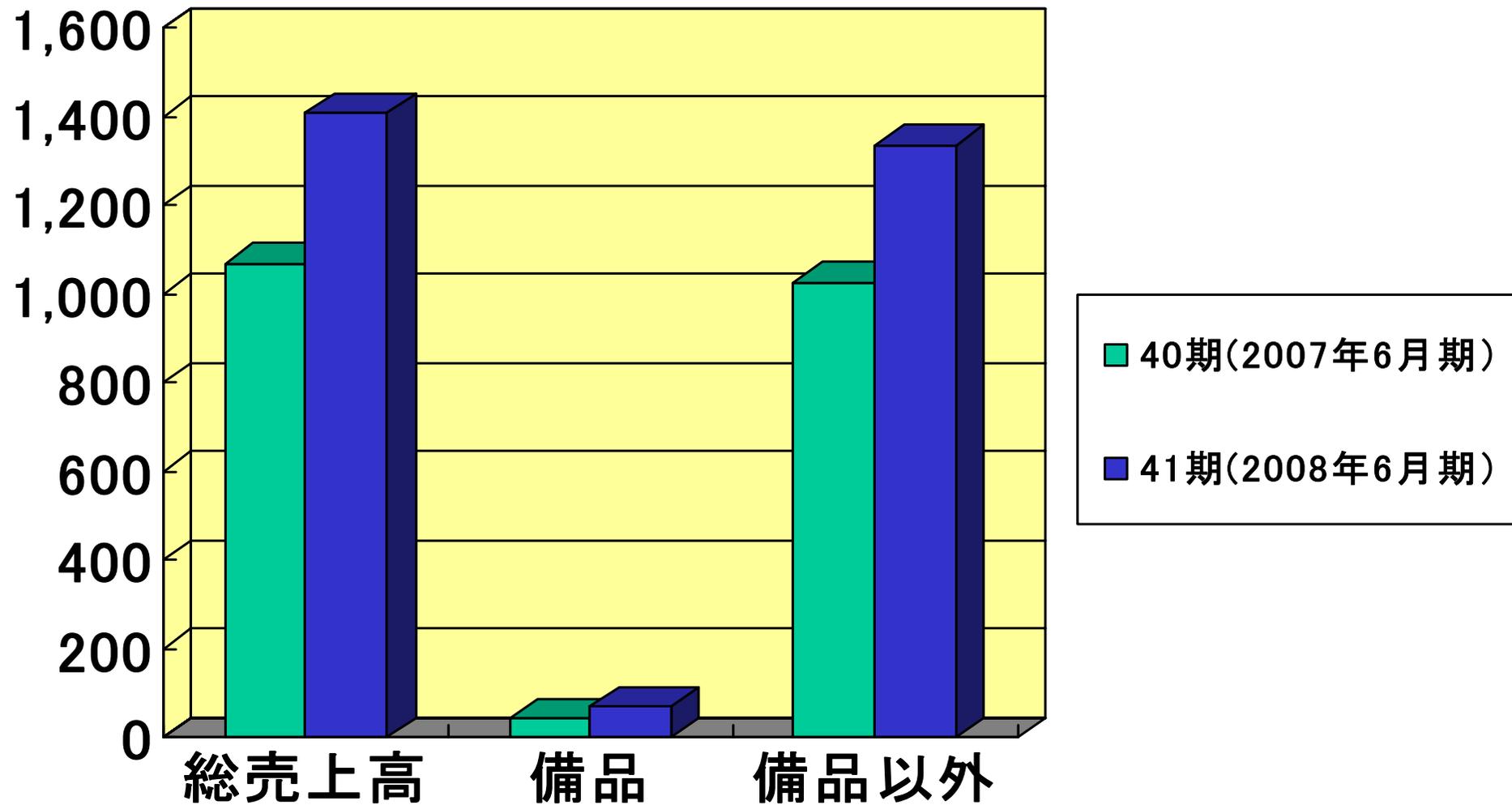
(単位：百万円、%)

商 品 群 別 売 上 高		07/6期 第1四半期	08/6期 第1四半期	前期比	07/6期
先端医療機器	画像診断装置	1,533	797	52.0	2,807
	内視鏡	776	943	121.6	3,497
	各種臨床検査機器	706	768	108.3	3,143
	眼科	681	713	104.7	2,864
	カーディオバスキュラー	1,248	1,407	112.8	5,724
	合 計	4,946	4,631	93.6	18,035
医療用具・備品	消耗品類・手術用機器等	7,212	8,111	112.5	29,446

6. オズ対前年度売上高比較 ①

売上高

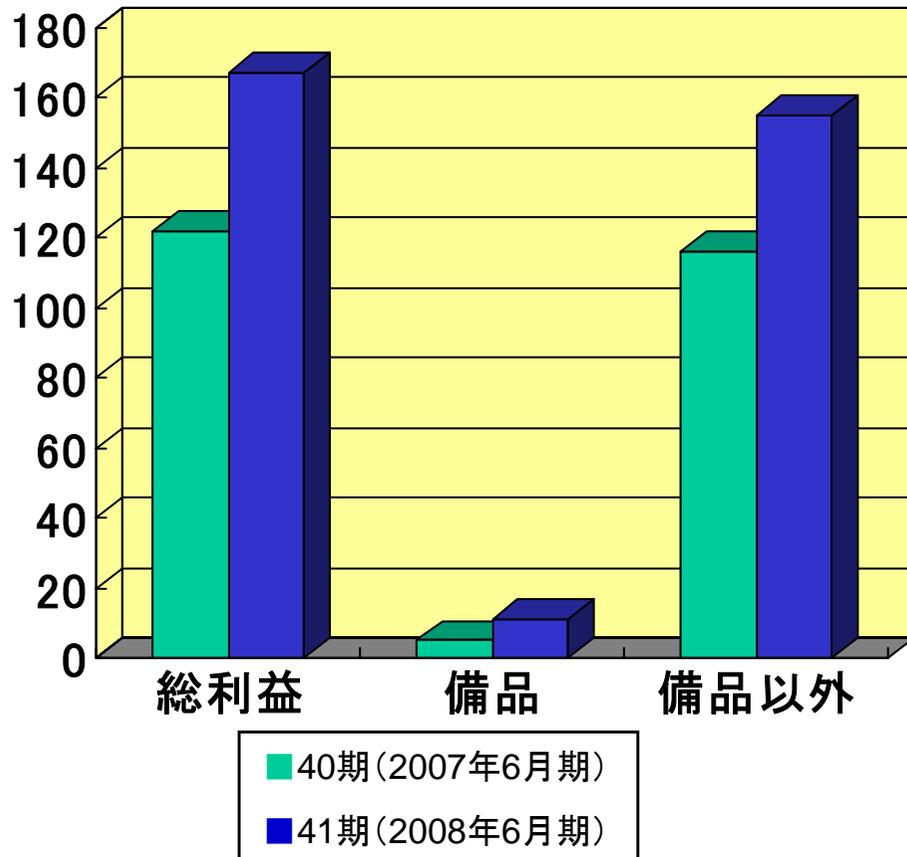
(単位 百万円)



② 売上総利益

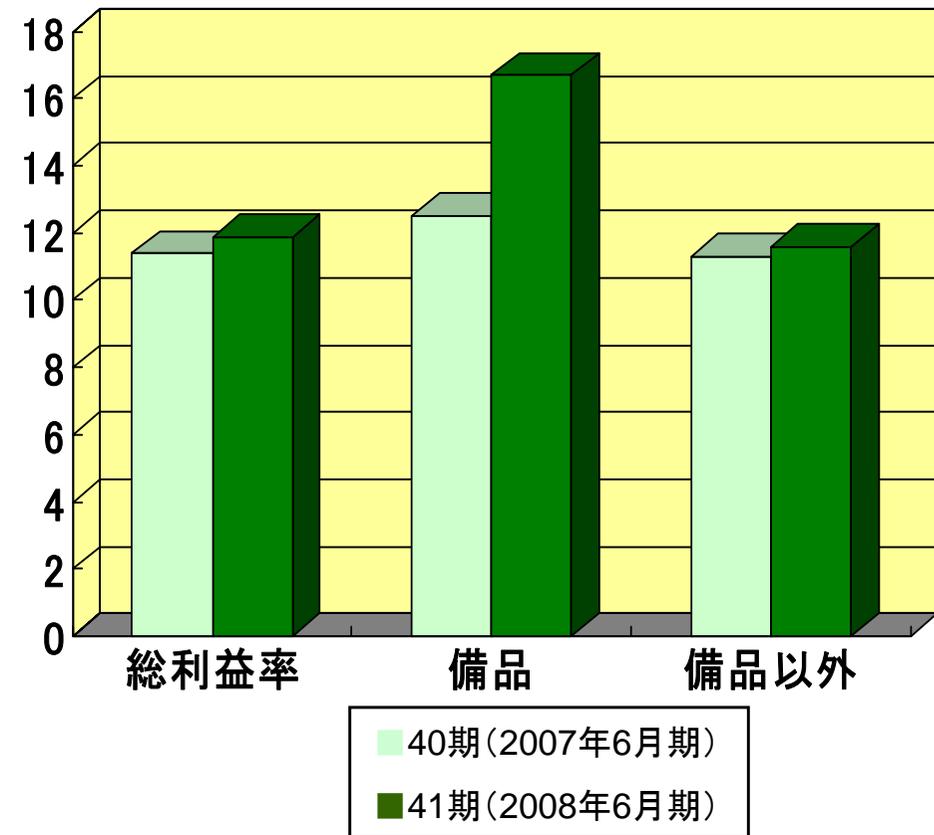
売上総利益

(単位 百万円)



利益率

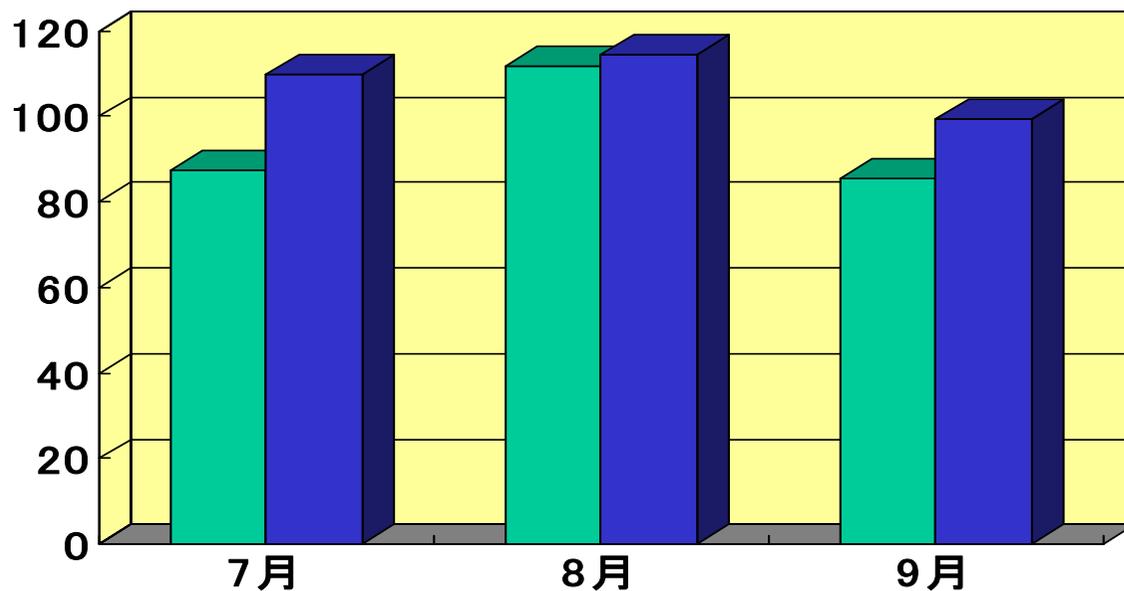
(単位 %)



③ ステント売上

売上

(単位 百万円)

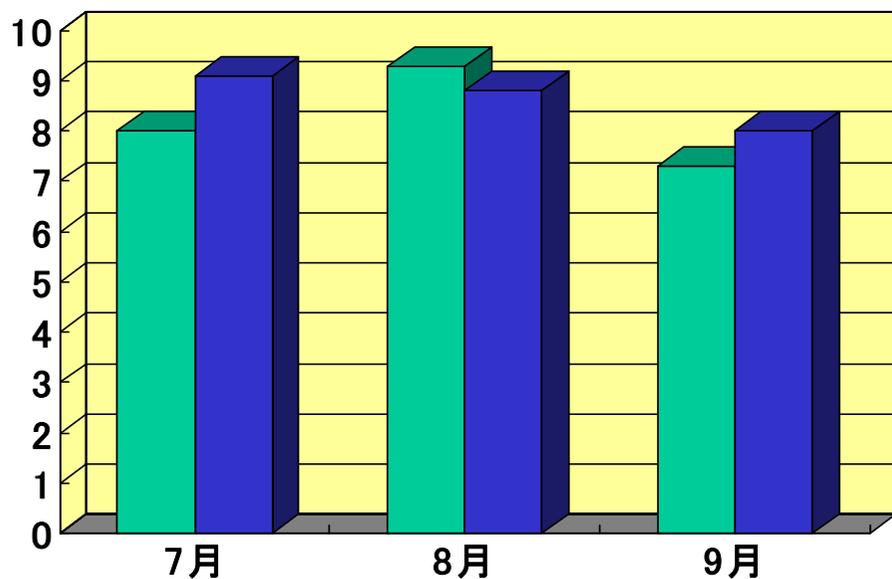


■ 40期 (2007年6月期)
■ 41期 (2008年6月期)

■ 40期 (2007年6月期)
■ 41期 (2008年6月期)

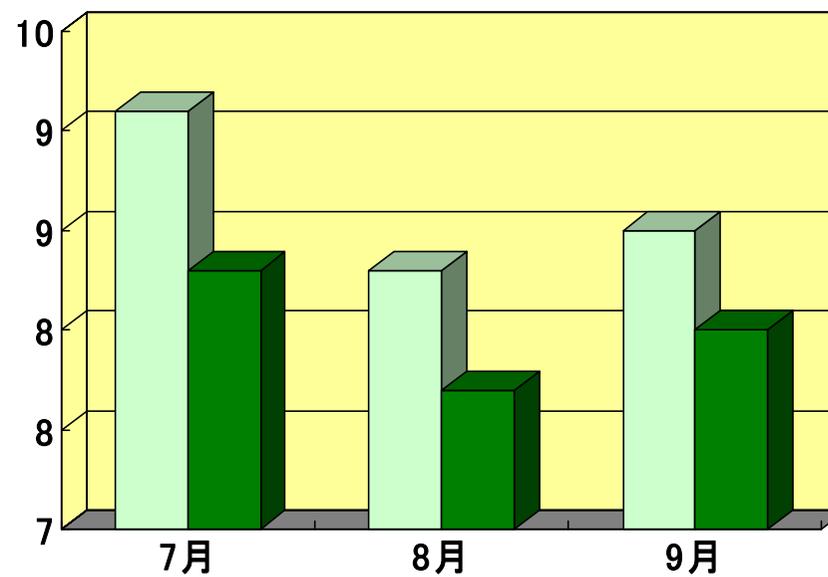
売上総利益

(単位 百万円)



利益率

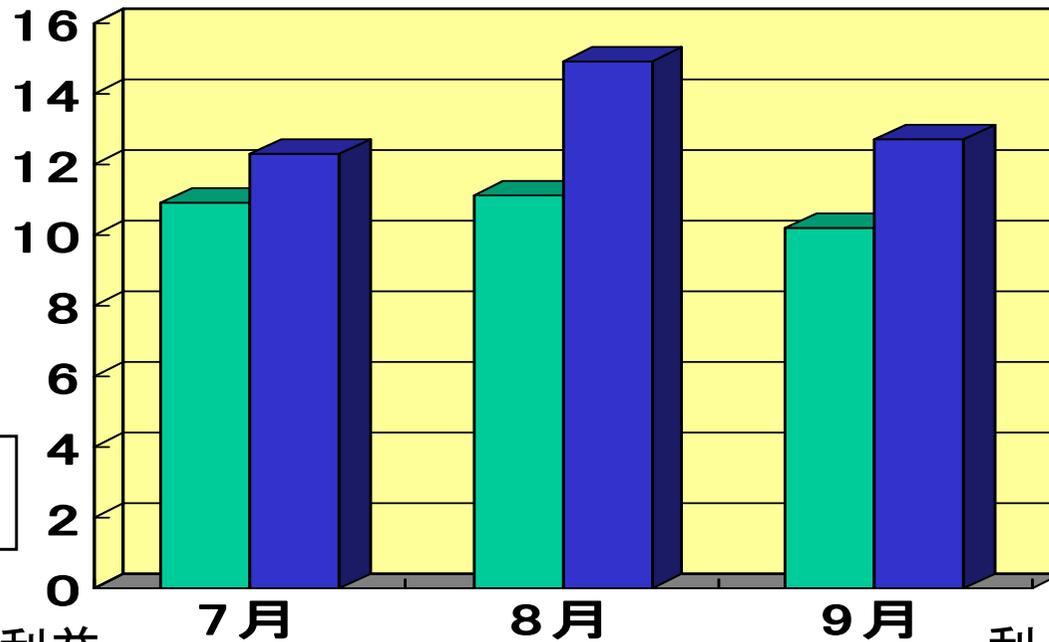
(単位 %)



④ PTA売上

売上

(単位 百万円)

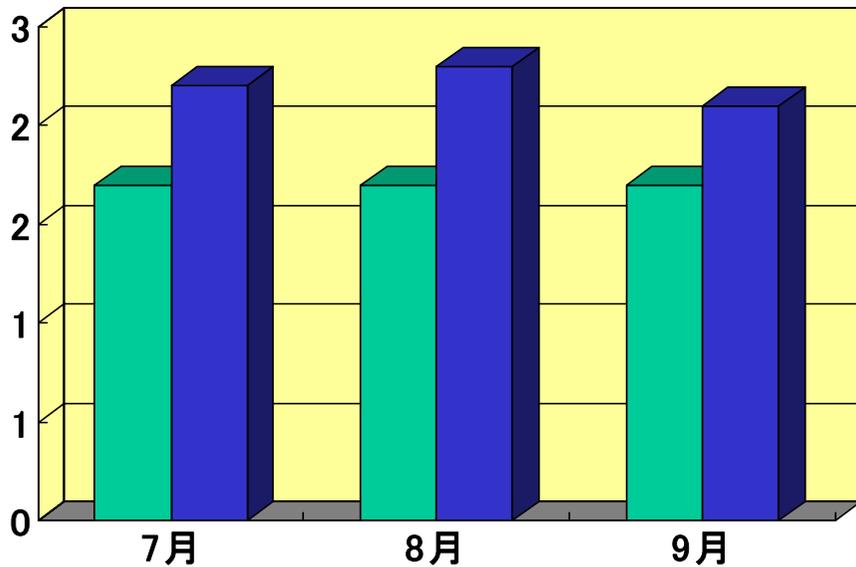


■ 40期 (2007年6月期)
■ 41期 (2008年6月期)

■ 40期 (2007年6月期)
■ 41期 (2008年6月期)

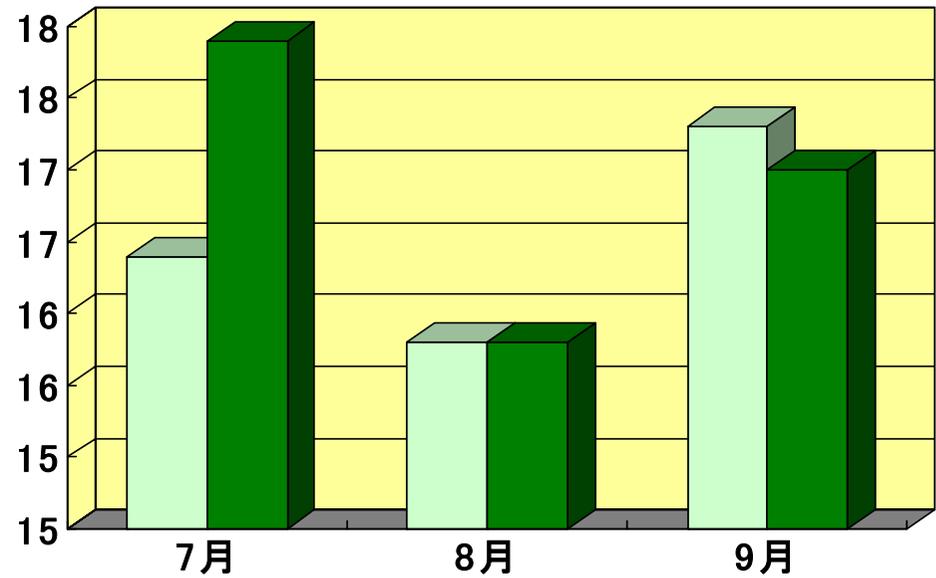
売上総利益

(単位 百万円)

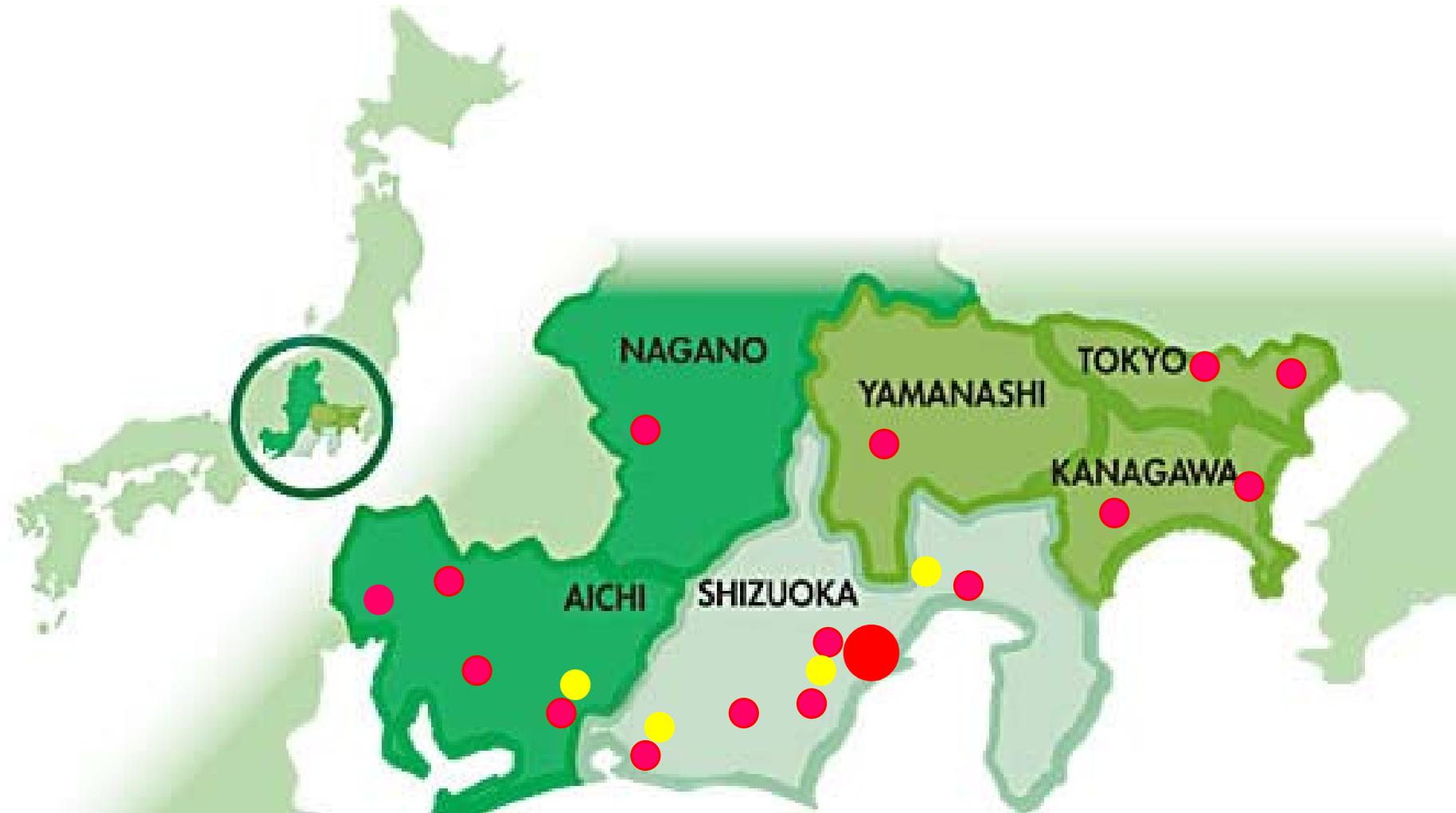


利益率

(単位 %)



7. 営業エリア



静岡県を中心に1都5県に拠点展開

8. 都県別販売実績

(単位：百万円、%)

	07/6期 第1四半期		08/6期 第1四半期		前期比	07/6期
	売上高	構成比	売上高	構成比		
静岡県	7,757	61.4	8,188	61.8	105.6	30,095
愛知県	2,385	18.9	2,444	18.4	102.4	8,751
東京都	493	3.9	550	4.2	111.6	2,205
神奈川県	1,375	10.9	1,589	12.0	115.5	5,949
山梨県	590	4.7	467	3.5	79.1	2,434
長野県	22	0.2	17	0.1	75.1	74
総計	12,626	100.0	13,256	100.0	105.0	49,511

9. 2008年6月期 業績予想(連結)



(単位：百万円、%)

損益		07/6期 (実績)	08/6期		前期比	
			上期 (予想)	下期 (予想)		
売上高	医療機器販売事業	47,481	25,712	24,727	50,439	106.23
	その他の事業	2,030	1,018	1,107	2,125	104.72
	合計	49,511	26,730	25,835	52,565	106.17
営業利益		327	130	114	245	74.78
経常利益		436	185	178	364	83.58
当期純利益		243	97	81	179	73.67
売上高営業利益率		0.66	0.49	0.44	0.47	-

達成のためのポイント:

- ・ 償還価格引下げによる売上総利益率の低下を最小に抑えるために大量購買による価格交渉等で仕入価格の削減を図る
- ・ 高度先端医療機器等の器械備品の案件を確実に成約に結びつける
- ・ 首都圏・愛知県の新規顧客に対し営業努力により販売増加を図る

営業基盤の強化

- ◆ 首都圏・愛知県の営業を強化し営業地域の拡大と基盤の安定化を図る
- ◆ 安心・安全対策を強化し他社との差別化を図る

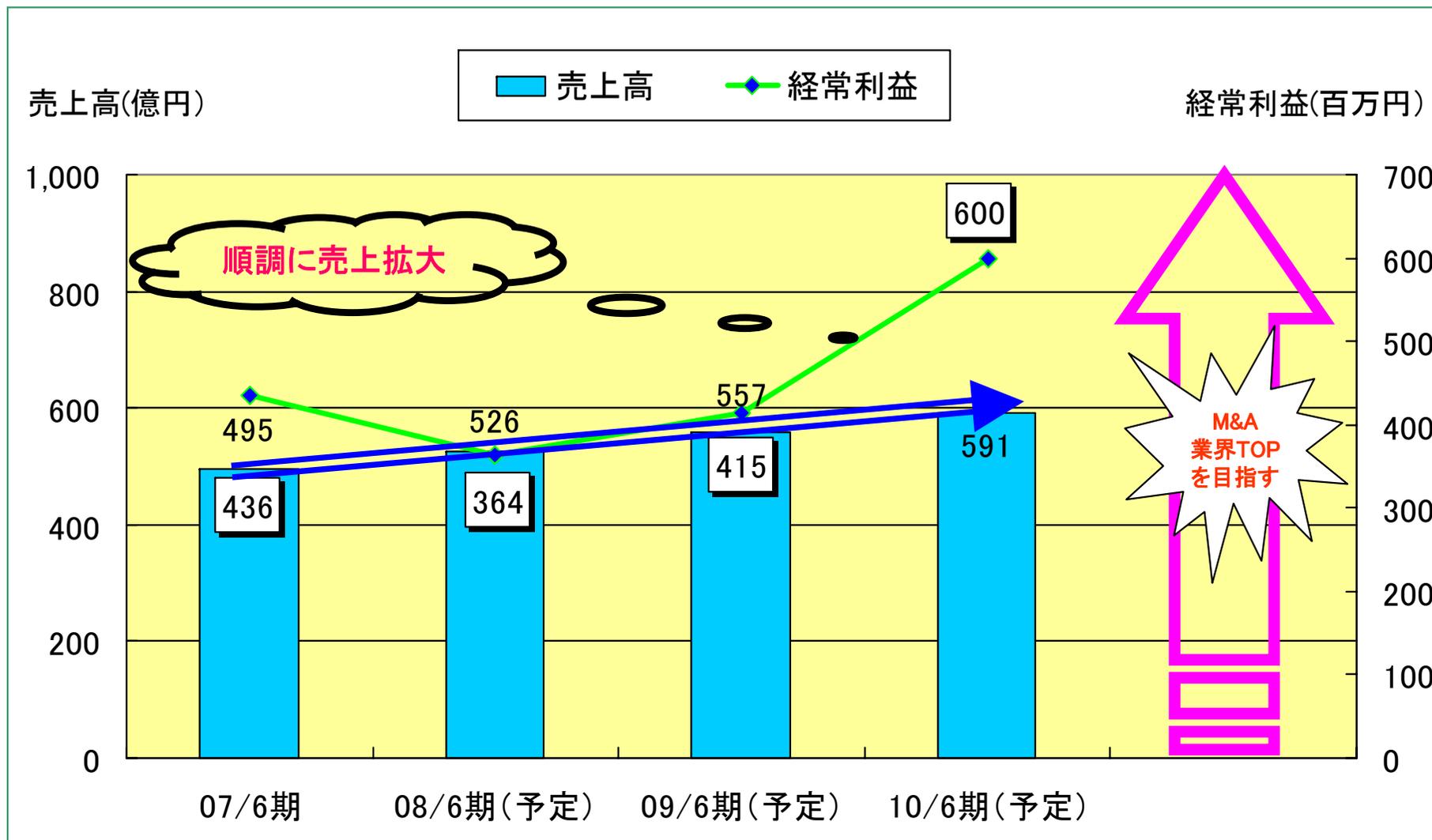
収益性の向上

- ◆ スケールメリットを活かし、仕入先との価格交渉により価格の低減を図る
- ◆ システムを活用して業務の効率化を図り、営業利益アップを目指す

営業の生産性向上

11. 中期業績目標(連結)

＋アルファはM&Aの成否次第



12. 問合せ先

I R

担当役員 代表取締役社長 池谷 保彦
事務担当部署 経営業務支援室

情報開示

担当役員 取締役経営管理本部長 柴田 英治
事務担当部署 経営企画部門

T E L : 054-345-8144

F A X : 054-349-2021

メー ル : ir_k@kyowaika.co.jp

U R L : <http://www.kyowaika.jp/>

補足資料

医療機器販売事業

国内の医療機器メーカー・代理店・商社等(約1,000社)より仕入れた医療機器(備品・消耗品)など約20数万点にも及ぶ商品を国内の病院等医療施設に販売しており、当社グループの基幹事業であります。

その他の事業

(1) 介護福祉機器の販売及びレンタル事業

国内の介護福祉機器メーカー・代理店・商社等より仕入れた介護福祉機器(備品・消耗品)を国内の病院等医療施設及び一般個人に販売しております。また、介護福祉機器の一般個人へのレンタルを行っております。

(2) 医療機器の修理及びメンテナンス事業

当社が病院等医療施設に販売した医療機器の修理及びアフターサービス、病院等医療施設との保守契約に基づく医療機器全般のメンテナンスを行っております。

2. 医療機器販売事業

先端医療機器

- **画像診断装置** PET、MRI、CT、エコー
- **内視鏡** ビデオ内視鏡システム、外科内視鏡システム
- **各種臨床検査機器**
生化学自動分析装置、尿分析装置
- **眼科** 自動視野計、レーシック、フェイコマシーン
- **カーディオバスキュラー(心臓循環器系)用具**
人工心臓弁、ペースメーカー、ステント

医療用具・備品

- **消耗品類** 注射器、点滴用品、X線フィルム
- **検査機器** 血圧計、顕微鏡、心電図検査機
- **病院内備品** ベッド、車椅子、薬品棚
- **手術用機器・手術用具** 人工関節等
- **その他** レセプトコンピュータ、電子カルテ

検査や治療を迅速・正確にするための先端医療機器販売と

注射器などの消耗品から事務機器まで薬品以外のほとんど全てをカバー



3. その他の事業

(1) 介護福祉機器の販売及びレンタル事業 他

救急車搭載医療器械



介護福祉機器(備品・消耗品)



販売・レンタル

介護施設等

一般個人

レンタル件数: 約33,000件

(2) 医療機器の修理及びメンテナンス事業

当社が販売した医療機器の修理及びアフターサービスが基本であり、安定収入となっています。

修理及びアフターサービス対象製品: X線診断装置・心電計 等

保守契約施設数: 約250施設

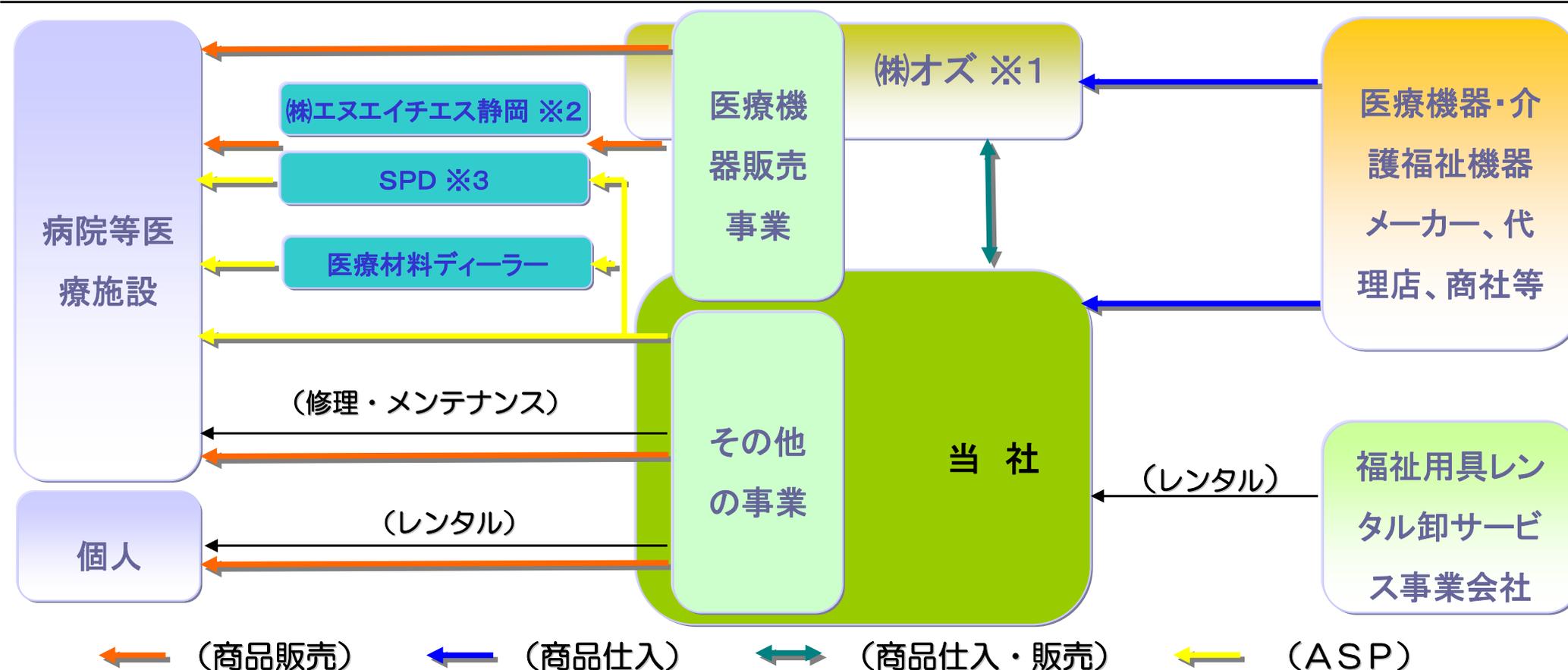


KE30



(3) メディカルシステム事業 (ASPサービス)

4. 事業系統図



※1 (株)オズは連結子会社(100%出資)であり、静岡県内において心臓循環器系の販売事業を行っております。

※2 (株)エヌエイチエス静岡は持分法非適用の関連会社

※3 Supply Processing & Distributionの略語で、病院が医療材料の物流管理を外注化し、病院所有の在庫の削減、病院側の物品管理作業の軽減を図るシステムのことであります。SPDの運用は、病院との契約により、医療機器販売会社又は専門の会社が行います。当社グループにおいては(株)エヌエイチエス静岡がSPDの運用を行っております。

※4 Application Service Providerの略語で、ユーザーはウェブブラウザなどでアクセスして弊社が保有するインターネット上のサーバーに格納された在庫管理ソフトをレンタルで利用する仕組み

5. 主要仕入先・販売先（当社単体）

（単位：千円、％）

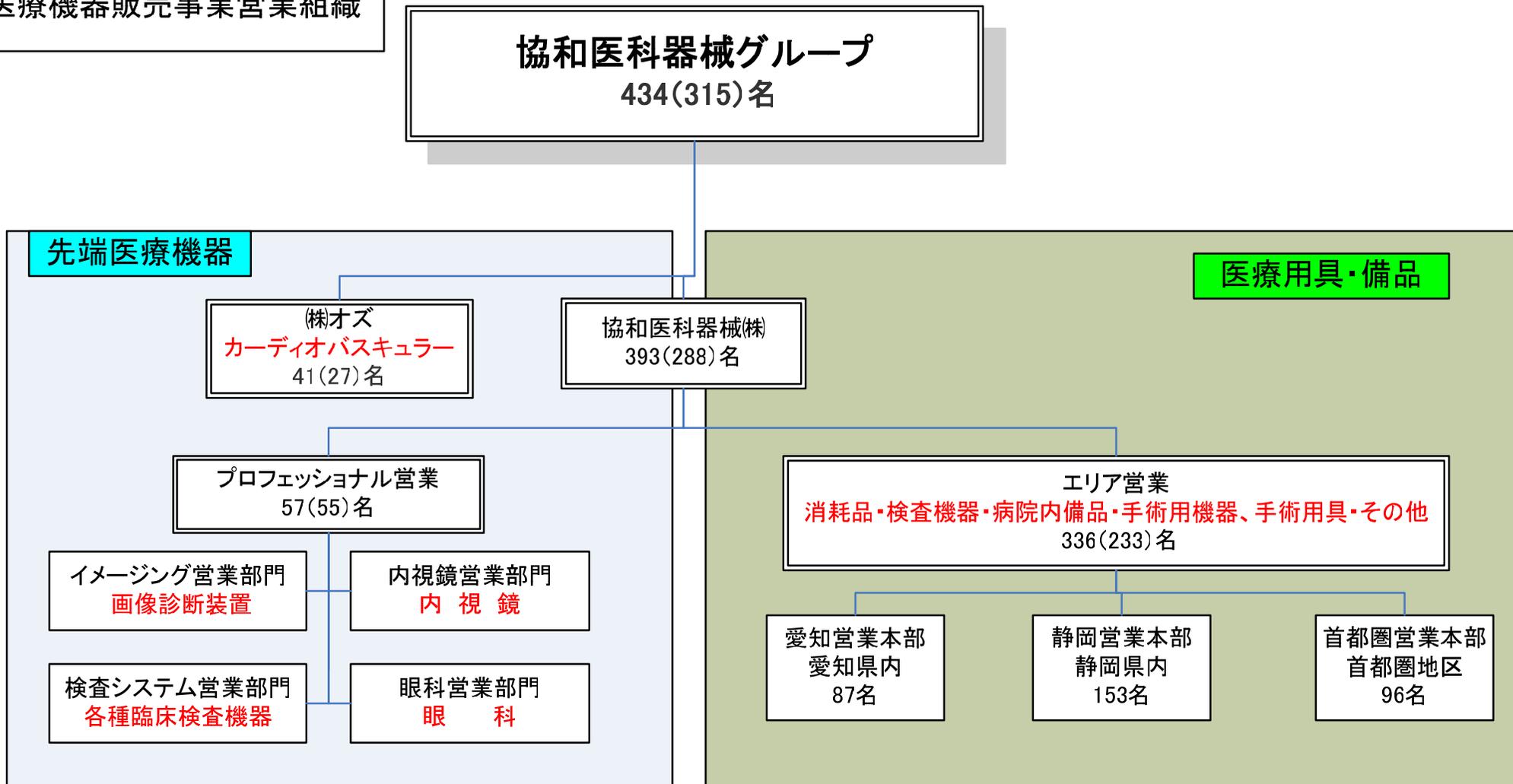
仕入先名	仕入品目	06/6期決算期		07/6期決算期	
		仕入金額	比率	仕入金額	比率
A社	ステント、針付縫合糸、自動吻合器他	3,156,990	8.0	3,148,096	7.8
B社	人工肺、血管手術用カテーテル他	1,488,428	3.8	1,557,606	3.9
C社	放射線診断機器他	1,237,274	3.2	1,497,362	3.7
D社	不織布、キット他	1,268,665	3.2	1,373,007	3.4
E社	内視鏡カメラ他	1,100,939	2.8	1,290,220	3.2
その他約900社		30,979,506	79.0	31,566,991	78.0
合計		39,231,805	100.0	40,433,283	100.0

仕入・販売先とも分散しており、一得意先の影響が受け難くなっています。

販売先名	販売品目	06/6期決算期		07/6期決算期	
		販売金額	比率	販売金額	比率
F施設	医療用器械・消耗品	1,228,623	2.8	1,982,988	4.4
G施設	医療用消耗品	1,588,578	3.6	1,875,244	4.2
H施設	医療用器械・消耗品	1,654,811	3.7	1,847,649	4.0
I施設	医療用器械・消耗品	1,323,865	3.0	1,357,848	3.0
J施設	医療用器械・消耗品	88,862	0.2	1,163,301	2.6
その他約2,100社		38,352,608	86.7	36,956,167	81.8
合計		44,237,350	100.0	45,183,198	100.0

6. 医療機器販売事業営業体制

医療機器販売事業営業組織



※人数の内()内は営業担当者の数です。

7. 当社の基本戦略

課 題	対 応 策
1. 特定の営業地域への集中	・多様化する医療機関のニーズへの対応 ・業務効率の改善 国内最大市場である首都圏地域での競争力アップ ・M&Aの推進
2. 医療費抑制政策の推進 医療構造改革の推進による医療施設の減少	
3. 医療機関の経営統合や共同購入の進展	
4. 商品の安全性確保の為にIT設備投資費用の拡大	

上記課題を認識し、従来と変更無く対応策を実行しています

8. 競争力アップ (医療材料の購買・在庫管理ソフト)



- 医療機関にとって**
- ・医療材料の最適化
 - ・在庫量・管理業務の最適化
 - ・病院間のベンチマーキングによる課題抽出
 - ・販売価格の見える化によるコスト削減
 - ・共同購買組合としてのインフラ

- 販売企業にとって**
- ・販売コストの削減
 - ・サプライチェーンによる物流コストの削減
 - ・無店舗により市場の拡大
 - ・共同購買組合としての体制作り
 - ・顧客満足度の向上
 - ・医療材料最適化コンサルティング

1. 業界におけるM&A

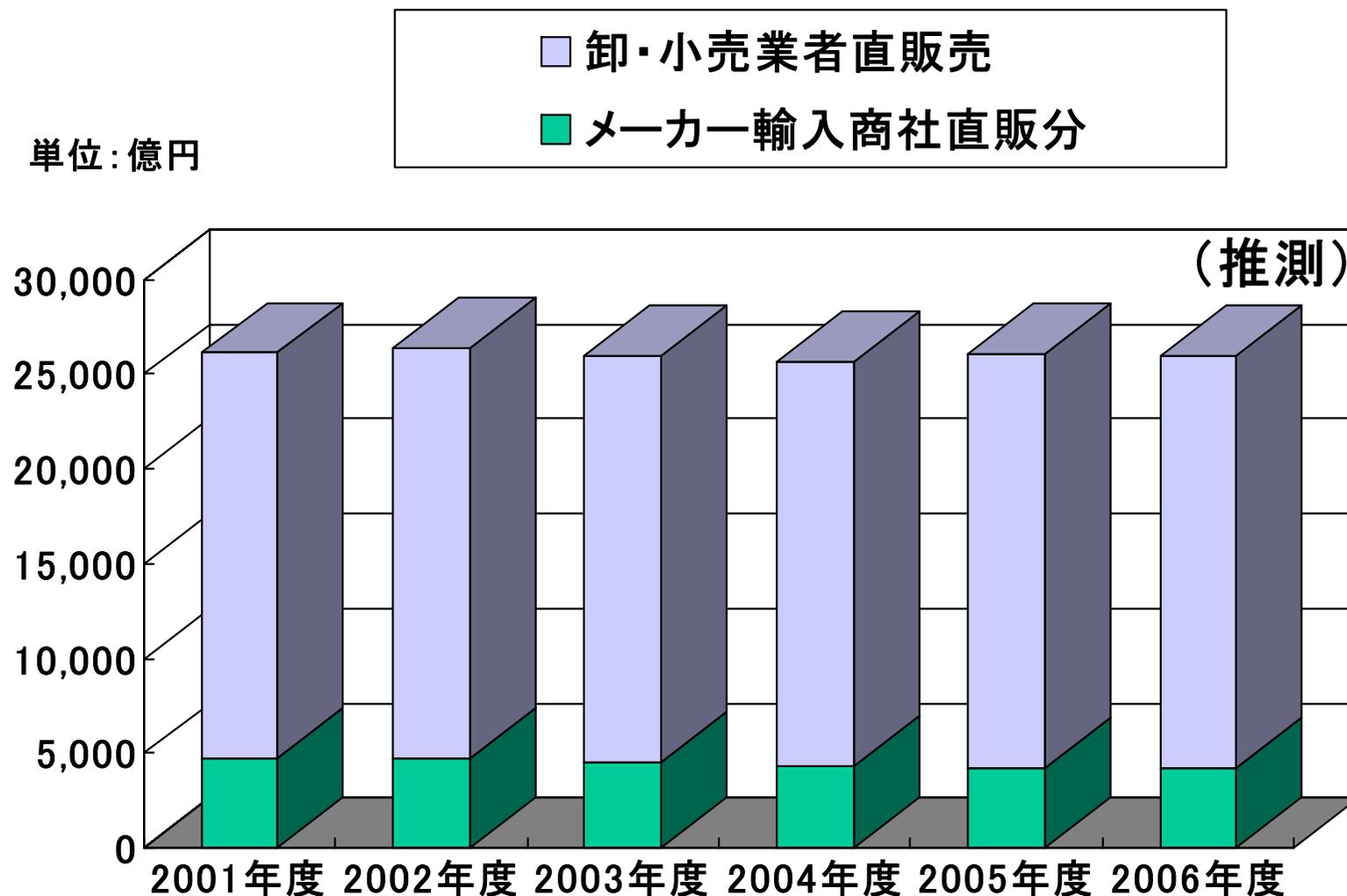
- ① 救済型から勝ち組同士のM&Aへ
- ② 同業との連携に加え医薬品卸・異業種とのM&A

2. 当社のアライアンス・M&A戦略

当社グループの成長戦略において前述の基本戦略他、特に事業シナジーが見込まれる以下の企業をターゲットとして、戦略的アライアンス・M&Aを推進していきます。

- ① 地域のNO1、NO2企業
- ② 有力代理店契約所有企業
- ③ 当面関東・東海地区の企業

医療機器・用品の末端マーケットサイズの推移



出所)「医療機器・用品年鑑2007年度版市場分析編」(株)オールアンドディ発行より

最新の医療行政の経過と医療制度改革についての説明

2003年 4月 被保険者3割負担

特定機能病院・包括医療スタート

2004年 4月 診療報酬▲1%改定

国立大学・独立行政法人化

2005年 4月 薬事法改正

2006年 4月 診療報酬▲3.16%改定

11. 業界順位①

業界順位(専業ディーラー別)

(単位:%)

順位	静岡県		愛知県		山梨県	
	社名	シェア	社名	シェア	社名	シェア
1	当社	28.7	八神製作所	27.3	マコト医科精機	23.7
2	八神製作所	9.2	三輪器械	5.3	豊前医化	15.3
3	オズ	6.9	当社	5.2	ムトウ山梨	12.2
4	富士フィルムメディカル	3.8	エッチエスメディカル	2.9	当社	10.0
5	コニカミノルタメディカル	3.1	名古屋医理科商会	2.6	平塚メディカル	4.1
6	東西医用器	2.9	コニカミノルタメディカル	2.3	中央メディカル	2.5
7	アクセス	2.9	リイツメディカル	2.2	伊東メディカル	2.4
8	西村医療器	2.8	ワキタ商会	1.9	富士フィルムメディカル	1.6
9	メディカルプロジェクト	2.7	加藤器械店	1.8	平穂医科器械	1.1
10	リイツメディカルサプライ	2.6	トウルムホッホメディテック	1.4	ライフサポート	1.1

出所)「医療機器・用品年鑑2007年度版市場分析編」(株)オールアンドディ発行より

業界順位(専業ディーラー別)

(単位:%)

順位	神奈川県		群馬県		茨城県	
	社名	シェア	社名	シェア	社名	シェア
1	サンメディックス	5.2	栗原医療器械店	36.6	栗原医療器械店	10.8
2	ソルブ	5.1	群馬エム・イーテクニカルサービス	4.4	日東	10.3
3	望星サイエンス	4.9	シーアールメディカル	3.6	ムトウ	8.8
4	八神製作所	4.4	栗原レントゲン	3.2	アステック	6.7
5	メディセオメディカル	3.9	メディコ	2.9	三陽	4.2
6	当社	3.5	富士フィルムメディカル	2.7	中嶋メディカルサプライ	3.9
7	東和医科器械	3.5	エムシー	2.5	コニカミノルタメディカル	3.5
8	フジフィルムメディカル	3.2	KSオリンパス	2.2	富士フィルムメディカル	3.3
9	コニカミノルタメディカル	2.8	川崎医療器	1.9	セントラルメディカル	2.8
10	サンライフ	2.8	ディーブイエックス	1.8	双葉	2.7

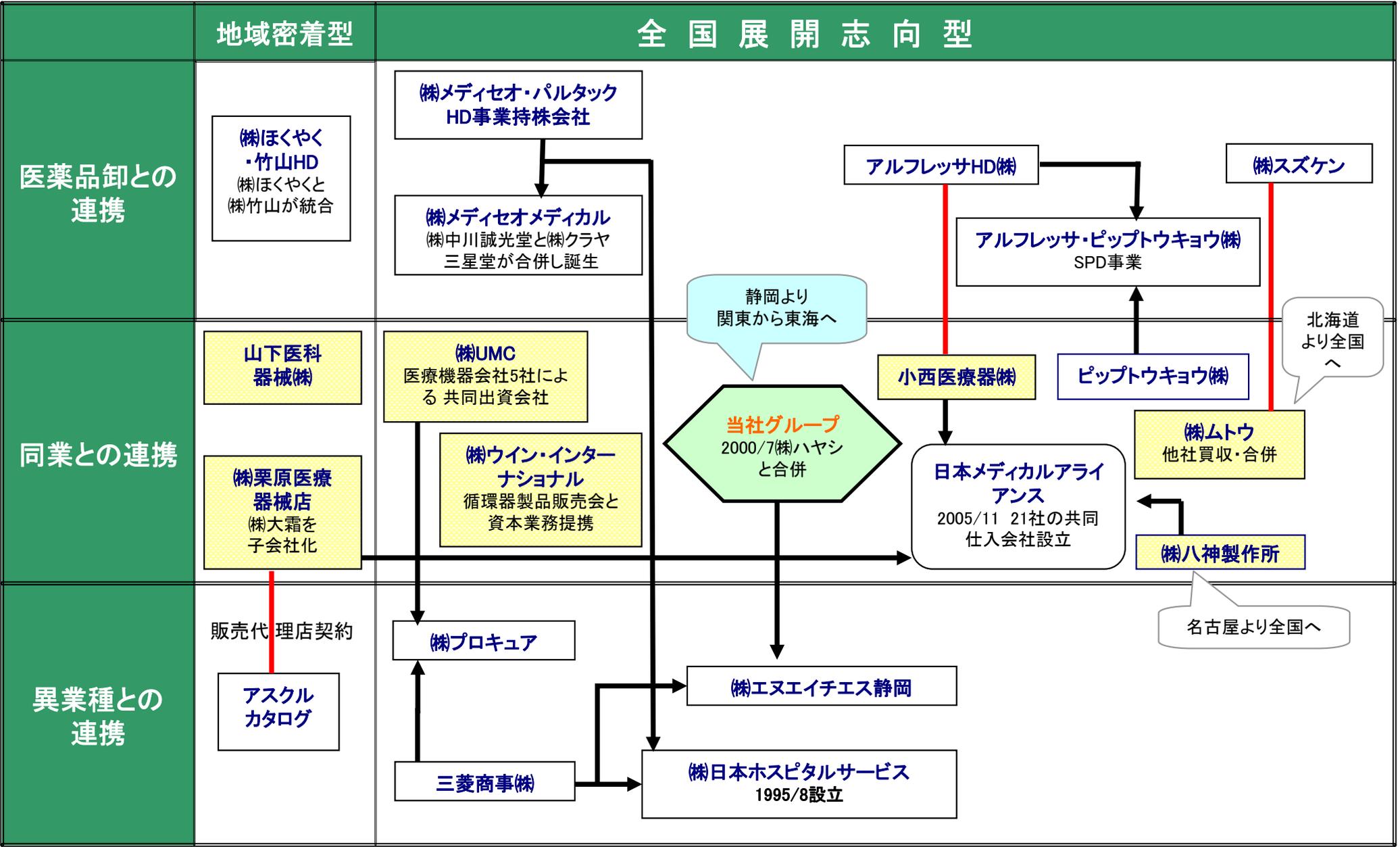
出所)「医療機器・用品年鑑2007年度版市場分析編」(株)オールアンドディ発行より

業界順位(専業ディーラー別)

(単位:%)

順位	栃木県		埼玉県		全国
	社名	シェア	社名	シェア	社名
1	サンメディックス	21.2	栗原医療器械店	8.9	(株)ムトウ
2	日成メディカル	9.3	ムトウ	6.2	(株)八神製作所
3	栗原医療器械店	8.9	ウィンインターナショナル	3.8	(株)メディセオメディカル
4	富士フィルムメディカル	3.4	富士フィルムメディカル	3.2	(株)日本ホスピタルサービス
5	エムシー	3.1	平和医用商会	2.8	宮野医療器(株)
6	KSオリンパス	2.8	いわしや盛田器械店	2.8	小西医療器(株)
7	いわしや丸富器械店	2.6	アイティーシー	2.2	当社
8	栃木放射線	2.6	コニカミノルタメディカル	2.1	グリーンホスピタルサプライ(株)
9	アスト	2.3	コマツ医科工業	2.0	(株)竹山
10	イオス商事	1.4	アスト	2.0	(株)栗原医療器械店

出所)「医療機器・用品年鑑2007年度版市場分析編」(株)アールアンドディ発行より



静岡より
関東から東海へ

北海道
より全国
へ

名古屋より全国へ

資本の流れ →

業務提携
代理店契約 ———

(当社調べ)

② 業界内の集約化

最近2年間の医療機器ディーラーの合併等の状況

ディーラー名	年 月	内 容
(株)ムトウ (北海道)	2005年 2006年 3月 2006年 6月 2006年 7月	(株)イー・エイチ・エス・エスへ資本参加子会社化 木内メディックス（山梨県）に資本参加子会社化 子会社(株)五味医療機器と木内メディックス（共に山梨県）を合併し(株)ムトウ山梨を設立 本社機能の一部（営業企画・仕入部門）を東京へ移転
(株)栗原医療器械店 (群馬県)	2006年 5月 2007年 4月	イリカ福祉メディカル(株)より営業譲渡 (株)大霜を資本参加により子会社化
(株)メディセオ・パルタックホールディングス (東京都)	2005年 2005年10月	(株)中川誠光堂が(株)ホस्पを合併 (株)中川誠光堂と(株)クラヤ三星堂が合併し(株)メディセオメディカル設立 (株)パルタックと経営統合し、(株)メディセオ・パルタックホールディングスとなる
(株)八神製作所 (愛知県)	2007年 1月	名張医科産業(株)と合併
(株)カワニシホールディングス (岡山県)	2005年 1月 2005年 6月 2006年 1月 2006年 4月 2006年 7月	営業展開の効率化を図るため、(株)カワニシと(有)井上医科器械を合併 日光医科器械(株)（大阪市阿倍野区）の株式を100%取得 ネオス医科(株)（奈良県橿原市）の株式を100%取得 日光医科器械(株)にネオス医科(株)を合併 高塚薬品(株)（岡山市）の株式を100%取得

13. 財務分析 ① 貸借対照表

■ 貸借対照表分析

(単位：百万円、%)

貸借対照表	07/6期 期末 (実績)	08/6期 第1四半期 (実績)	期末比	コメント
流動資産合計	13,347	13,816	103.5	受取手形及び売掛金卸 ・たな資産の増加
固定資産合計	2,876	3,106	108.0	
資産合計	16,224	16,922	104.3	
流動負債合計	11,804	12,420	105.2	支払手形及び買掛金・賞与 引当金の増加
固定負債合計	242	279	115.5	
負債合計	12,046	12,700	105.4	
純資産合計	4,177	4,222	101.1	
負債及び純資産合計	16,224	16,922	104.3	

② キャッシュフロー

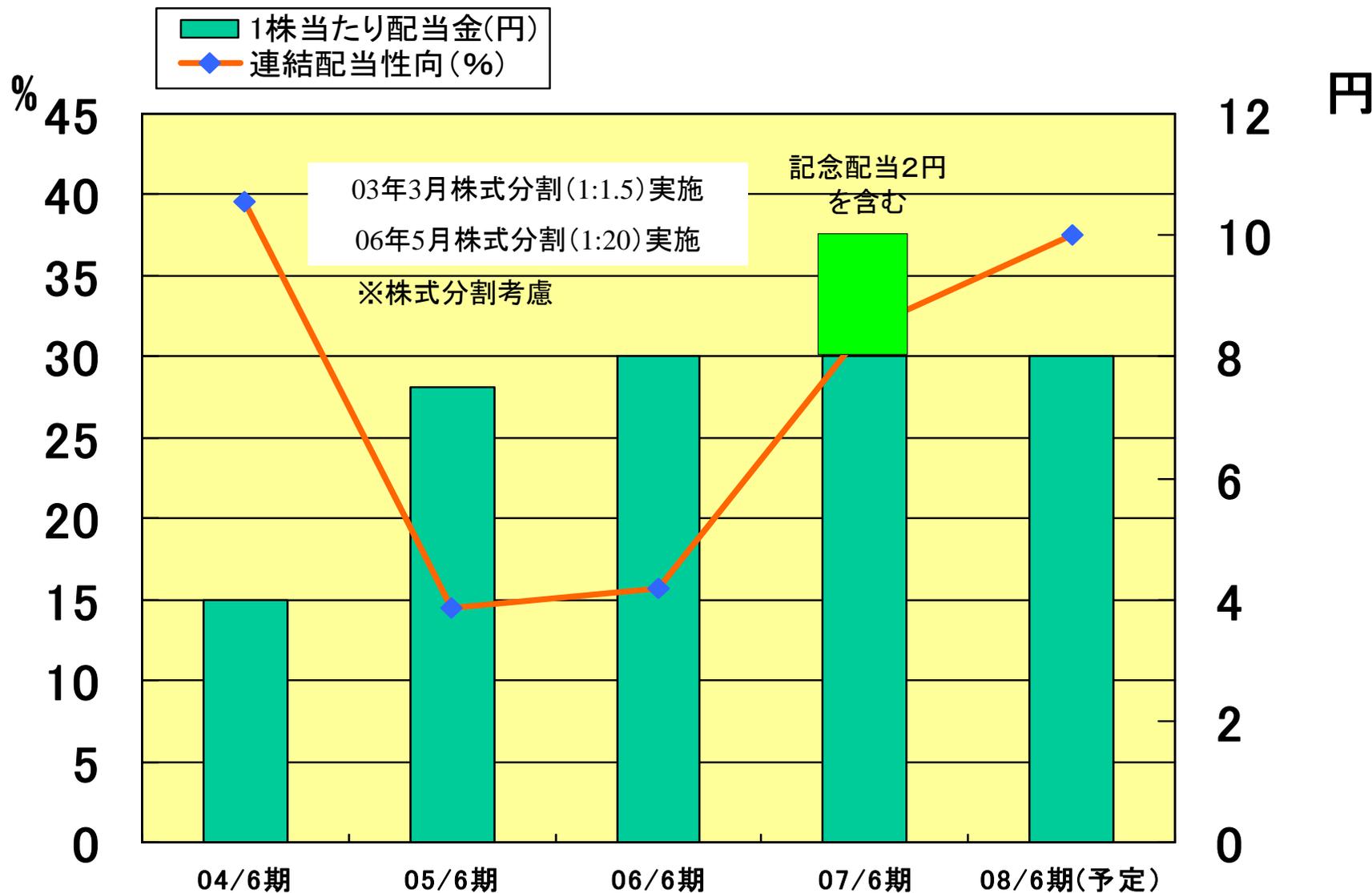
■ キャッシュフロー分析

(単位：百万円)

キャッシュフロー	07/6期 第1四半期 (実績)	08/6期 第1四半期 (実績)	07/6期 期末 (実績)
営業活動によるCF	△1,534	△1,476	134
投資活動によるCF	△31	△112	△234
財務活動によるCF	892	△68	286
現金及び現金同等物の増減額	△637	△1,657	185
現金及び現金同等物の期末 残高	2,106	1,308	2,966

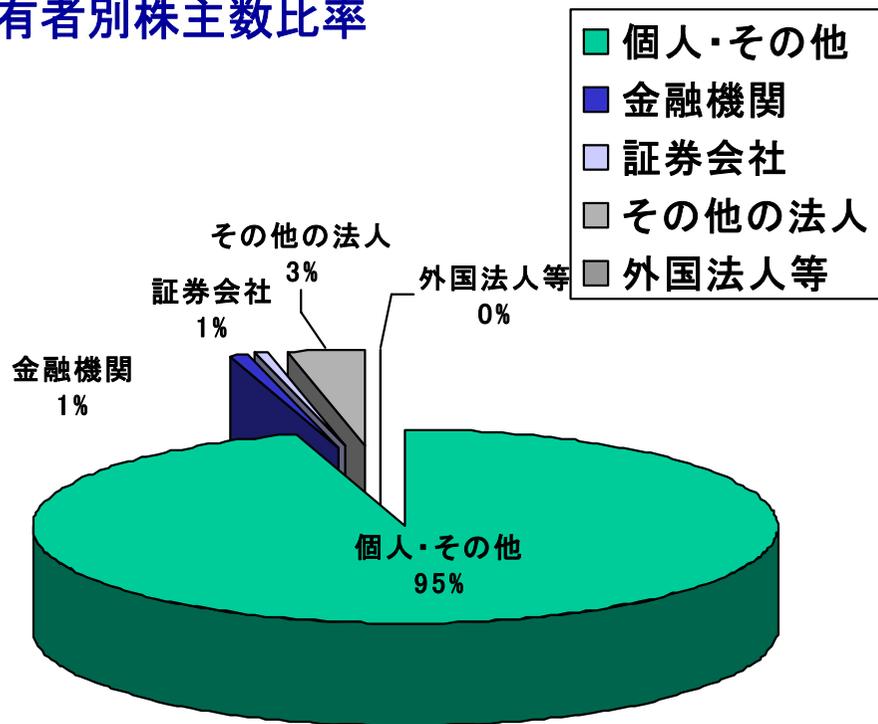
14. 配当政策

中長期に渡る経営基盤の強化と事業拡大に必要な内部留保を確立しつつ、成長に応じた成果の配分を実施（連結配当性向20～30%）する事を基本方針としております。



15. 株主状況

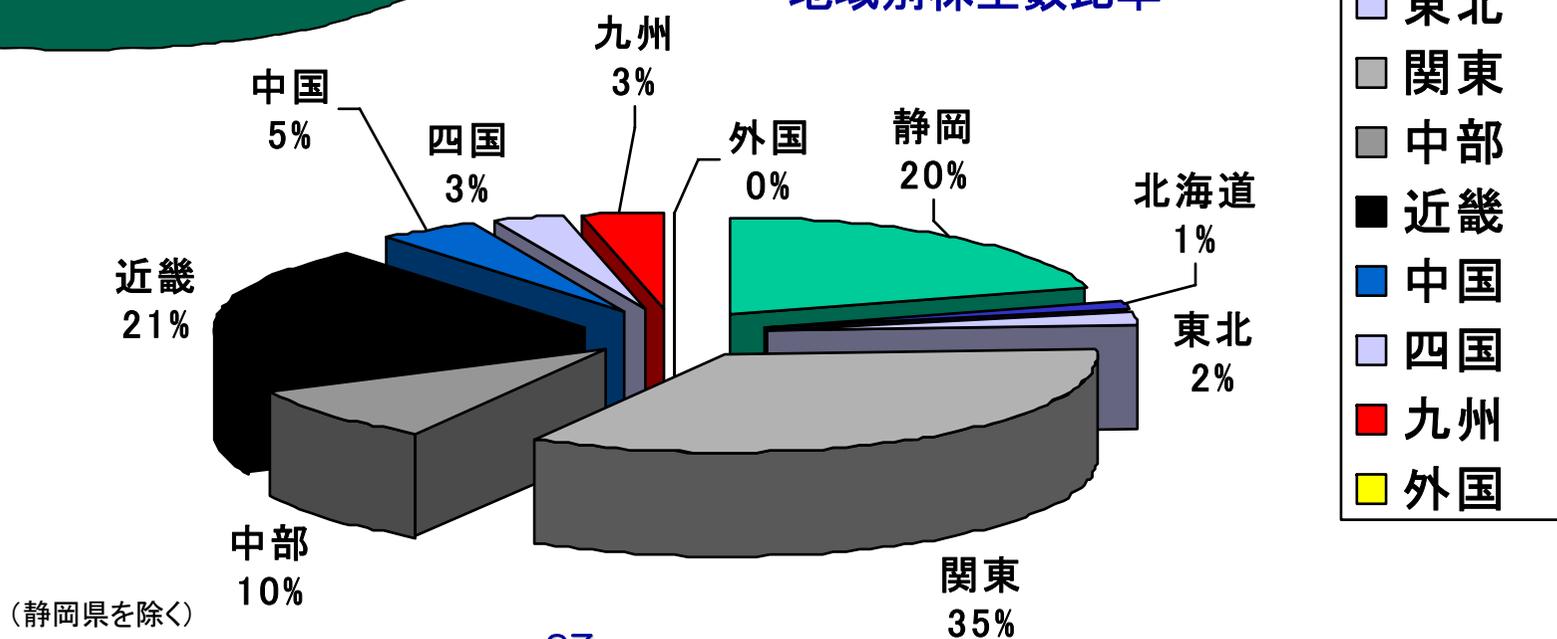
所有者別株主数比率



発行可能株式数	22,000,000 株
発行済株式総数	8,386,500 株
株主数	1,170 名

(自己株式 3,300株含む)

地域別株主数比率



病院経営セミナー

2007年 3月	演 題	【勝ち残る病院、勝利の方程式】 【病院経営再生テクニック】
	講 師	春秋会 城山病院 病院長 田辺氏 (株)メディカルクリエイト 代表取締役 堤氏
	場 所	静岡音楽館AOI (静岡県静岡市)
	参加人数	60名
2007年 8月	講 師	(株)メディカルクリエイト 代表取締役 堤氏 他
	場 所	パシフィコ横浜 (神奈川県横浜市)

当社主催 展示会

2007年10月	Medimesse-g 2007
場 所	グランシップ
講 演	[患者の思い、患者の本音] 室井佑月氏
参加人数	444名

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。